

長門湯本温泉観光まちづくりプロジェクトが 2020年度「地方創生大賞」(地方創生担当大臣賞)を受賞



地域の素晴らしさ・新たなチャレンジを地域以外の消費者をはじめ、より多くの方々に伝えることを目的とした表彰制度「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」において、長門湯本温泉が取り組んできた温泉街再生に向けたプロジェクト「『オト天国』長門湯本温泉街の丸ごとリノベーション&マネジメント」が、地方創生大賞（地方創生担当大臣賞）に選出されました。

この表彰は、それぞれの名品や、名品をめぐる人材・取組が、どれだけ地方の変革に向けた機運を醸成し、その実現に成功したかという観点から選考・表彰するもので、長門湯本温泉は、応募総数208件の中から「コト部門」において最高位となる地方創生大賞を受賞したものです。

※同表彰に関する詳細は、別紙をご参照ください。

2016年以降、長門湯本温泉が、長門市及び山口県、湯本まちづくり協議会をはじめ地域の方々、旅館関係者をはじめとする地元事業者と一体となり、取り組んできた地域の持続可能性を高めるための様々な積み重ねが、温泉街の「面的再生」に民間企業、地域住民及び行政が一丸となって「オト天国」を実現した長門湯本温泉街の取組として、地域にこれまでもあった素晴らしい魅力を中心に据えながらも、地方創生の視点でさらに磨き上げられた名品として、高く評価されたものです。

ここに至る過程で、地域、事業者、行政、専門家など、多様な方々の参画を得て来たことそのものが評価いただけただけのものと考えており、この場をお借りして、改めて、関係の皆様へ感謝を申し上げます。

本リリースに関する報道関係からのお問合せ先：

～ 観光を消費から共感へ これからの旅と暮らしを長門湯本から ～

長門湯本温泉まち株式会社 エリアマネージャー 木村隼斗

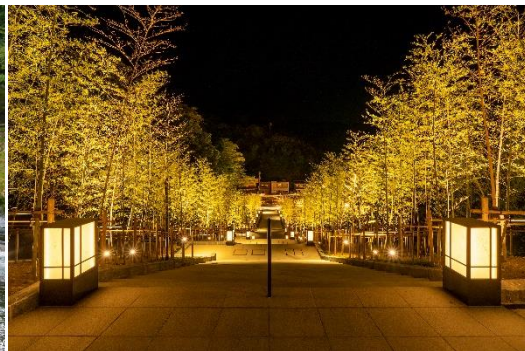
E-mail : y-kimura@yumotoonsen.com

tel: 0837-25-6400

【受賞名品】「オソト天国」長門湯本温泉街の丸ごとリノベーション&マネジメント

【受賞団体】長門湯本温泉まち株式会社

【概要】敷地主義を脱した温泉街の「面的再生」を、民間・地域・行政一丸で実現しました。民間でのシンボル外湯の再建・新規店舗7軒、地域での景観刷新や植栽管理、公民での河川・道路の活用ルール・観光地経営の仕組みづくりを通じ、ここにしかない「オソト天国」を生み育てています。



(参考) 審査員コメント

(ふるさと名品オブザイヤー
公式HPより抜粋)



増田 寛也氏

日本郵政株式会社 代表執行役社長

1951年東京都出身。77年東京大学法学部卒業後、建設省入省。94年退職。
95年より2007年まで岩手県知事を3期務める。2007年より総務大臣、内閣府。
特命担当大臣（地方分権改革）地方再生担当道州制担当（～2008年）。
2009年より東京大学公共政策大学院客員教授。
2014年より、まち・ひと・しごと創生会議委員等。
2020年1月より日本郵政株式会社 代表取締役社長

今回はコロナで閉塞感がある中、気持ちがクリアになるような作品が多く見られました。

モノについては、「醤油じかん 手作り醤油キット」は、自分も取り寄せたいと思わせる狙いが良かったと思います。そのほかにも、今回も応募作品の中には、フォトジェニックで印象的な名品が多く見受けられました。

コト部門の中では、長門湯本温泉まち株式会社の取組は、地域住民が参画し、企業とも共同して素晴らしい街を作り上げています。今年はコロナで観光客も少なかったかもしれませんが、今後の展開が楽しみです。

第1回から審査をしてくると思うのは、さまざまな主体の連携による継続的なプロセスが重要ということです。コト部門については、モノのように取り寄せることは難しいですが、こうした効果的なプロセスを横展開できると、全国各地の地域活性化の取組にも参考になるのではないかと思います。

本リリースに関する報道関係からのお問合せ先：

～ 観光を消費から共感へ これからの旅と暮らしを長門湯本から ～

長門湯本温泉まち株式会社 エリアマネージャー 木村隼斗

E-mail : y-kimura@yumotoonsen.com

tel: 0837-25-6400

坂本地方創生担当大臣コメント (ふるさと名品オブザイヤー公式HPより抜粋)

地方創生担当大臣の坂本哲志でございます。

この度、「2020年度 ふるさと名品オブ・ザ・イヤー 表彰式」が開催されましたことを、心からお喜び申し上げます。また、地方創生大賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

コロナ下での選考については、例年にも増して、多くのご苦勞があったものと拝察いたします。これまでの関係者の皆様のご尽力に対し、まずは敬意を表したいと思えます。2014年に地方創生の取組をスタートさせて以来、人口減少の克服、東京圏への一極集中の是正などの目標に向け、これまで多岐にわたる施策を推進してきました。今では、全国で地方の創意工夫を活かした様々な取組が行われています。また、新型コロナウイルス感染症を機に、地方への関心が一層高まっています。こうした動きを逃すことなく、地方へのひと・しごとの流れを創出するとともに、各地域の特色を踏まえた自主的・主体的な取組を促進し、地方分散型の活力ある地域社会を実現していきたいと考えています。この実現に当たり、地域資源・産業を活かして地域の競争力を強化することは極めて重要です。こうした中、「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」は、地域の素晴らしい名品を発掘し、全国に発信する取組として、地域を元気にする、まさに新しい地方創生の考え方にも合致する素晴らしい取組であると考えております。今回で6年目を迎えられましたこと、改めて、お喜び申し上げます。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響下にもかかわらず、応募総数が208件と、昨年度と比べ大きく増加したと聞いております。そのような激戦の中で、地方創生大賞を受賞された2つの名品の関係者の皆様におかれましては、誠におめでとうございます。改めて、お祝い申し上げます。

①伝統的な醤油作りを誰でも自宅で簡単にチャレンジできる「醤油じかん 手作り醤油キット」の取組、

②温泉街の「面的再生」に民間企業、地域住民及び行政が一丸となって「オソト天国」を実現した長門湯本温泉街の皆様の取組、

このいずれも、地方にこれまでもあった素晴らしい魅力を中心に据えながらも、地方創生の視点でさらに磨き上げられた名品であると思えます。また、今回惜しくも大賞には至らなかった多くの取組も、いずれも、地域の素晴らしい魅力を発信していました。

今回大賞を受賞された皆様をはじめとして、地域で取組を続けている事業者の皆様に対しまして、心から敬意を表したいと思えます。そして、全ての地域の自慢の名品が、今後、日本全国、そして世界へと羽ばたいていかれることを大いに期待しております。地方創生は、政府だけでなく、民間の方々をはじめ、様々な関係者が一体となって取り組まなければ、進みません。今後とも、名品を通じた地域の魅力発信に取り組んでいただくことで、地方創生の進展に向けて共に歩んでいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

本リリースに関する報道関係からのお問合せ先：

～ 観光を消費から共感へ これからの旅と暮らしを長門湯本から ～

長門湯本温泉まち株式会社 エリアマネージャー 木村隼斗

E-mail : y-kimura@yumotoonsen.com

tel: 0837-25-6400